



# 太陽学園

令和元年度  
学校報 10月号①  
大仙市立  
大曲中学校

## ~我が青春 華の如く~ 曲中生のために！ 一致団結 曲中祭！ 若竹町内会の心配りに感謝

6日（日）に行われた今年度の曲中祭。「HERO ~我が青春 華の如く~」のテーマのもと、生徒一人一役でたくさんのお客様をお出迎えました。

ステージ発表の午前は、1・2年生による校歌合唱から3年生の劇まで、午後は吹奏楽の演奏から最後は3年生による「大なる秋田」でフィナーレを迎えました。たくさんのお客様から大喝采の拍手をいただきました。また、各種展示やPTAの売店、屋台コーナーなども大盛況で、生徒全員が達成感を味わったようです。保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

9月に裏若竹道路で起こった自転車（曲中生）と自動車との接触事故。原因は自動車の一時不停止と前方不注意で、幸い自転車の破損と軽傷で済みましたが、ひとつ間違えると重大な事故になり得る可能性もありました。裏若竹道路は、道幅が狭い割に交通量が多いのが特徴です。そのような道路でスピードを出して自転車に乗っている曲中生を見かける時があります。いつ何時自動車が路地から出てくるかもしれません。危険予知能力を働かせて、安全なスピードで登下校してほしいと思います。

また、若竹町内会が今回のような事故が再び起こってほしくないということで、事故のあった交差点に「止まれ」の警告の看板を設置してくださいました。「曲中生のために設置した」と大友若竹町内会長が話してくださっています。曲中生の安全を考えてくださり、本当に感謝いたします。



## 曲中生 栄光の記録(9/24 ~ 10/4)

- 第54回大曲仙北児童生徒理科研究発表会  
最優秀賞「布についたインクの脱色法」  
高橋英汰、押久保信、小田嶋航路  
高橋華秀、大友寧々  
最優秀賞「線香花火の研究」  
菅原和希、北村諒太、富樫美智弥  
最優秀賞「有害物質の除去方法 Part II」  
益満昂佑、佐藤光、渡辺周椰  
加藤唯人、嵯峨颯人
- 第71回全日本合唱コンクール東北支部大会  
合唱部 中学生の部 銀賞
- 第58回秋田県中学校秋季陸上競技大会  
男子共通 800m 第1位 小田嶋圭隆  
男子1年 1500m 第5位 児玉慶音  
男子共通 200m 第7位 安達楓太  
女子1年 1500m 第5位 細井杏桜  
女子共通走幅跳 第8位 太田結依
- 大和田良平杯女子中学生バレーボール大会優勝

# 本日は前期終業式

本日は前期の終業式。今年度の折り返し地点です。

前期の目標は達成できましたか？目標は立てて終わりではなく、目標を達成できたかどうか検証することが大切です。達成できた場合は、さらにランクUPした目標を後期に設定し、達成できなかった場合は、その原因を自分なりに分析して後期に備えてほしいものです。明日11日（金）から16日（水）まで学校が休みになり、17日（木）に後期始業式になります。6日間の休み中に後期の準備をしておきましょう。なお、後期からは完全衣替えで冬の制服になります。準備をよろしく願いいたします。

## 終業式での生徒発表

前期の振り返りと後期に向けて

1年2組 三浦 七瀬

私は、中学校に入る前は中学校の行事が楽しみでした。先輩たちから聞いていたのは曲中祭がとても楽しいということでした。そういう期待を持って入学式を迎えました。入学式では一人一人、名前を呼ばれて返事をするのがとても緊張しました。そして、初めて聞く校歌がとても長くてびっくりしました。さすがは日本一長い校歌だなと思いました。中学校での授業が始まり、教科ごとに先生が変わることで、より詳しい内容の授業を受けることができ嬉しかったです。授業以外でも部活動の種類が小学校に比べてとても多くなりました。その中で私は生活科学部に入部しました。私は花ふきん作りや着物の着付けを体験しました。今まで経験がなかったのでとても嬉しかったです。中学校生活が始まってからはテストに苦労しました。中学校のテストは小学校のテストと違って、順位が出ます。私は、前期中間のテストではあまり良い順位ではなかったのですが、1点でも多く点数を取れるように頑張ったことで、今では順位が上がり、勉強したことが自信になりました。前期はだいぶ中学校生活に慣れ、友達もたくさん増えたので、後期はより一層勉強と部活動を頑張って、中学校生活を充実させていきたいです。大曲中学校の目標である「よく生きよ」。たった5文字の言葉に私は多くのことを考えます。皆さんはどう考えるでしょうか。私は卒業までにそれを見つけたいです。

前期の成果と後期の目標

2年9組 堀内 京

二年生になって半年が過ぎました。一年生の頃より成長した部分と、まだまだ足りない部分がありました。私が、前期で成長し成果を出すことができたと思うことは二つあります。

一つ目は、学級の副委員長として委員長とともに学級をまとめ、引っ張ることができたことです。自分から意見を言えたり、ダメだと思ったことには注意したりできるようになりました。二つ目は学習に対する取り組みです。一年生の頃は授業中に先生の話していることがあまり理解することができませんでした。これではいけないと思分らないことは友達に聞いたり、家庭での学習量を増やしたりしたところ、先生の話が分かるようになり授業に集中できるようになりました。成果もあつた前期でしたが、課題もはっきりしました。後期に頑張っていきたいことは二つあります。

一つ目は、学級でも部活動でももっと意見をはっきりと言えるようになることです。何かを決めるときに全員が納得して決めることができるように、全体のことを考えた発言を増やしていきたいです。二つ目は、学習です。三年生の先輩方が受験に向けて頑張っている姿を見て、まだまだ学習量が足りないと感じました。特に数学に力を入れ、苦手を克服していきたいです。

後期は、先輩たちに受験勉強に集中してもらうために、私たち下級生が全校のリーダーとなって頑張っていかなければなりません。先日行われた曲中祭はとても感動しました。来年、私たちが先輩たちのようなヒーローになれるよう、今からしっかりと準備をしていきたいです。委員会活動などの活動を安心して任せてもらえるよう、一生懸命頑張ります。



前期の学びをこれからに生かす

3年7組 伊藤 和之

曲中の最高学年として過ごした半年は、とても内容が濃く、自分自身を大きく成長させてくれたと思います。まず、学年の振り返りとして、修学旅行があげられます。修学旅行では、これまでにない初の試みである東京上野の野外ステージで校歌を披露しました。会場には沢山のOB、OGの方々に来場していただき、会場一体となって歌うことができました。中には涙を浮かべている方もおり、大きな達成感を味わうことができました。また、自分たちだけで活動する場面も多々あり、一つ一つ考えながら行動することの大切さを学ぶことができました。楽しい思い出が沢山詰まった修学旅行でしたが、学年の甘さも浮き彫りとなったと思います。この修学旅行を通して経験した良いことも悪いことも決して無駄にすることなく、これからの生活に役立てて、学年全体としてもっと成長していかなければならないと思いました。自分自身の振り返りとしては、水泳部の副キャプテン、体育委員会の専門委員長という役割を担っていました。「人の上に立つ」という立場になってから初めてわかった感覚が、より自分の責任感を強くしてくれたと感じています。

部活動では、個人の結果には悔いの残るものがありました、リレーで東北大会出場を果たすことができました。大会当日は、日々の努力、そして部員全員からの東北一の応援が力となり、チームとして全県大会よりも速いタイムで泳ぐことができました。日々切磋琢磨してきた仲間の存在が大きな励みになっていたことを実感できました。個人色の強い競泳という競技の中で、いろいろな面での仲間の大切さがわかりました。委員会活動では、放送での呼びかけや自分の当番など、忘れることなく行うことができたので、これからも継続していけるよう心がけていきます。また、後期には、球技大会という大きな行事があります。体育委員会が中心となる行事なので、全校生徒の皆さんの思い出に残せるよう、積極的に行動し、委員全員で貢献していきたいと思います。

部活も引退し、この後期への移り変わりを一つの節目として、受験生という意識をもって学習面にもっと力を入れていきたいです。そして曲中生として過ごす残り半年を「よく生きよ」という校訓を胸に刻み、翠峰学年全体で悔いのない中学校生活を築き上げていきたいです。



## 緊急事態発生時はその日のうちに連絡を！

交通事故等、緊急を要することが起きましたら、休日でもその日のうちに学校か学級担任へ連絡をお願いします。それでも連絡が取れない場合は、教頭へ連絡してください。事件・事故のない秋季休業になるようにご家庭のご協力よろしくお願いたします。

大曲中学校 63-2222

教頭 畠山・小松